

▶ 第34回目となる今回は、山梨県立産業技術短期大学校 観光ビジネス科 1年 中尾琴音さんが、中央観光株式会社 ホテル鐘山苑 代表取締役社長 宮下節夫氏 を取材しました。



経営者

中央観光 株式会社  
ホテル鐘山苑

代表取締役社長 宮下 節夫 氏

## 鐘山苑でなければ 味わうことの出来ない感動を

学生



山梨県立産業技術短期大学校  
観光ビジネス科

1年 中尾 琴音 さん

▶ **学生** 会社の概要についてお教えてください。

▶ **経営者**

当社は東京オリンピックの2年前の昭和37年に開業しました。当時は、地場産業である織物業を営んでおり、初めはこの土地に織物工場の建設を計画していたのですが、富士山を望む絶好のロケーションや将来の可能性を考え、観光産業に進出しました。

全くのゼロからの挑戦で、日帰り温泉の規模から始めて次第に施設を拡充し、現在は客室数123室、収容人員は最大で550名の旅館となりました。また、自宅で結婚式を挙げるのが一般的だった時代から設備投資を続けてきたブライダル部門も当社の重要な柱です。

▶ **学生** 鐘山苑の特長について教えてください。

▶ **経営者**

全国的に旅館業は厳しい状況にあります。お客様に来ていただくために、おもてなしと和風文化で「鐘山苑でなければ味わうことのできない感動」を提供したいと考えています。当社の日本庭園は専門のスタッフを中心に手間を惜しまない管理を行い、富士山を望み桂川の清流が流れる庭園には抹茶をお出しする茶室や休憩所を設け、春には桜を、秋には紅葉をご覧いただけます。また、6月には虫を放し、夏には打ち上げ花火を上げる等の季節に合わせたイベントも実施し、お客様がいつ来ても楽しんでいただけるようにしています。每晚ロビーで社員による霊峰太

鼓ショーを演奏し、館内には400カ所の生け花をあしらひ、和を感じていただける演出をしています。また、違う料理をお出しできる5ヵ所の厨房を設け、お客様の要望に応じたメニューをできたてで提供できるようにしています。

おかげさまでリピーター率は高く、1年に何回もお越しになる方、長年続けてご利用いただいている方も数多くいらっしゃいます。

▶ **学生** 御社が求める人物像について教えてください。

▶ **経営者**

お客様は日常を離れリフレッシュを求めてお越しになります。宿泊業は、お客様の疲れを取り癒しの空間を提供する健康産業の1つだと考えています。ですから、まず「笑顔であいさつができる」「明るく元気」が接客業の基本として大切です。その上で必要としているのが「自ら学ぶ人、学ぶ意欲のある人」です。実際に仕事をすれば料理や飲み物、地域の文化等の分からないことがたくさんあります。

その時にそのままにしないで、自分から学ぶ意欲のある人を必要としています。さらに「積極的に取り組む人」が良いと思います。何事もやってみなければ本当の大変さや楽しさは分かりません。経験して身につけていくことが大切です。また、最近は外国からのお客様も増えてきておりますので、英語か中国語が何か一つでも「外国語で会話できる人」も必要としています。

▶ **学生** 今後の方向性や将来像について教えてください。

▶ **経営者**

一人一人のお客様に向けての魅力づくりに力を入れ、お客様に感動していただける鐘山苑としてOnly Oneを目指していきたいと思えます。人生の節目の記念旅行にお客様が多くのご選択肢の中から選んでいただけるような存在を目指します。伝統は革新の連続と言われます。現状に満足することなく、常に新しいものを提供していきたいと考えています。

### 取材を終えて…

宮下社長から旅館業について丁寧に教えていただき、実際に施設を案内され、1人1人の従業員の真心が本当に大切だと感じました。感動を与える庭園や美しい生け花を綺麗な状態で維持するのは簡単なことではありませんが、華やかに見える場所ほど努力が必要だと実感しました。また、すれちがうお客様の嬉しそうな表情を見てこちらまで温かい気持ちになり、本当に多くのお客様に愛されていることが分かりました。

自分の将来に役立つ貴重なお話をたくさん伺うことができ、私も夢に向かって努力していきたいと思えます。

